

令和7年度人権・同和教育若年教職員パワーアップ研修会 開催要項

1 目的

香川県では2002年3月の地対財特法の失効後、2003年に「香川県人権教育基本方針」を策定し、同和教育がこれまで積み上げてきた成果を生かしながら様々な人権問題の解決を目指す「人権・同和教育」を推進してきた。

しかし、教職員の世代交代が進むなか、部落差別をはじめとする様々な人権課題に対する認識を深めるとともに、これまで積み上げてきた人権・同和教育の理念や手法を若年教職員に継承していく必要性が指摘されている。

そこで、採用されて15年以内の若年教職員を対象とし、その人権・同和教育の指導力向上を目的とした研修会を実施する。

2 主催 香川県教育委員会

3 日時・場所（全3回）

- ① 令和7年 8月5日（火）9時15分～16時30分（受付 9時00分～）
香川県庁（北館3階303会議室） 高松市番町4丁目1番10号
- ② 令和7年 8月18日（月）9時30分～16時25分（受付 9時00分～）
香川県教育センター（第1・2・3・8研修室） 高松市郷東町587丁目1番
- ③ 令和7年12月25日（木）9時30分～12時30分（受付 9時00分～）
香川県庁（本館12F第1・第2会議室） 高松市番町4丁目1番10号

4 対象者

採用から15年以内の教職員50名程度で、人権・同和教育を校内で推進したいという思いを持っている教職員、または同和問題学習をする際のスキルを身に付けたいと思っている教職員。

小学校教諭または特別支援学校小学部教諭 [25名程度]

中学校教諭または特別支援学校中学部教諭 [15名程度]

高等学校教諭または特別支援学校高等部教諭 [10名程度]

5 内容

① 8月5日（火）

○講話「未定」

講師：岡本 俊晃氏（丸亀市金山文化センター職員）

○ワークショップ「未定」

講師：伊沢 令子 氏（特定非営利活動法人NIED・国際理解教育センター代表）

講師紹介：平成9年名古屋市で特定非営利活動法人NIED・国際理解教育センター設立。

名古屋市を中心に中部地方はもとより、近畿・中国・四国地方の学校、教育委員会、地方自治体等の研修会において「参加体験型を取り入れた学び」や「参加と共働のまちづくり」等をテーマとした講演活動を行う。現在も「教育こそが人と社会の健やかさの鍵！」との言葉をキーワードに、参加型やファシリテーターの育成を中心としたワークショップをとおして学校現場の教職員にエールを送り続けている。

○授業づくりについて（メンバー顔合わせ&内容説明）

② 8月18日(月)

○演習「“実践行動につながる、人権・同和問題学習”の授業づくり」

内 容： 校種別・学年別のグループに分かれ、アドバイザーからの意見や助言を踏まえた指導案の検討。その後、完成した指導案に基づいた模擬授業の実践。

アドバイザー：・人権・同和教育に深い見識をもつ管理職及び教員、元教員等
・香川県教育委員会事務局 人権・同和教育課指導主事

③ 12月25日(木)

○実践交流・意見交換「パワーアップ研修を通して」

内 容： パワーアップ研修を通して学んだこと、実践を通して考えたことなどを振り返る。

6 準備物

- ① 人権・同和教育教職員ハンドブック「みんなですすめる人権・同和教育」
(令和3年3月改訂 香川県教育委員会事務局人権・同和教育課)
- ② 人権・同和学习教職員リーフレット「『人権意識を学ぶ』授業から『実践行動を学ぶ』授業へ～実践行動につなぐ4つの視点～」
(令和3年3月発行 香川県教育委員会事務局人権・同和教育課)

7 備 考

<参加について>

- ① 参加希望者が定員を超過した場合は、抽選にて決定します。
- ② 受講の可否については、決定通知書を送付します。
- ③ 原則として3日間とも参加すること。

<授業実践について>

- ① 第2回で作成した指導案をもとに、各学校で(可能な範囲で)授業実践をしてください。
- ② 授業実践に向けての事前討議や当日の授業に関して、当課指導主事が積極的にご協力致します。お気軽にお声かけください。

8 参 考 (昨年度参加者の感想の一部)

- ・ この研修のおかげで、自分自身の人権感覚を見直すことができ、子どもたちに伝えたいことが自分の中に生まれ、2学期に実践することができた。
- ・ 人権・同和問題の授業をやってみよう！と思えるとてもいいきっかけになった。
- ・ 人権学習＝難しい、暗いというイメージがガラッと変わった研修だった。
- ・ 子どもたちにフィードバックすることはもちろん、自分の思い込みに気づくなど、人間として成長できた研修だったと思う。
- ・ 4回の研修や自校での取組で「成長したな」と自分で思えたので、研修を受けて良かった。
- ・ 研修を受ける前より、人権学習に対する熱量が上がった。
- ・ 活動がたくさんあって、いろいろな先生と話すことができて良かった。
- ・ 今年から人権・同和教育主任になり、どうすればよいのか分からないことだらけだったが、人権課題への向き合い方をはじめ、たくさんの学びを得ることができた。